

# 新規事業の取組み状況②

## 【生物遺伝資源ビジネス】



# 1. 生物遺伝資源ビジネスに当社が取り組む理由

当該ビジネスは以下の当社バックグラウンドを活かしたビジネスの一つと捉えております。

- 40カ国を超える豊富な国際取引で培った**法令・文化への対応力**
- ロボットおよびシステム開発で培った**ソフトウェア開発およびデータベース構築力**
- 一品一葉のシステム開発等で培ったお客さまニーズを的確に捉えての**最適な提案力**

これらの中計で示した取組みに当てはめると以下の通りとなります。

**ヘルスケア産業等への提案** (最適な提案力) = **生物遺伝資源の有効利用** (法令・文化への対応力) + **独自開発の解析技術による付加価値提供** (ソフトウェア開発 + データベース構築力)

ターゲット解析によるデータで付加価値をプラス

尚、当社には生物遺伝資源研究開発の専門家と「資源提供国に対する利益の公正かつ衡平な分配」(生物多様性条約のABS)に基づく国際契約の経験者も在籍しております。

## 2. 中計で示した「生物遺伝資源研究への取組み」の状況

### ① 生物遺伝資源を活用した研究開発へ継続して取組む

生物遺伝資源の有効利用 + 独自開発の解析技術による付加価値提供

→ ヘルスケア産業等への提案



### 状況

- 資源提供国との契約を維持、サンプル対象範囲拡大に向けた交渉中
- ABSの国際遵守証明書を取得(アルゼンチン 2州)
- 相関ネットワーク解析ツール「Higomari」を今期リリース予定
- 同ツールを用いたノンターゲット解析および受託解析サービスを計画
- 「ぷらんっプロ」サービスを開始(2月の健康博覧会に出展済)
- COP16(コロンビア)のサイドイベントに資源提供国と共同参画予定

## 2. 中計で示した「生物遺伝資源研究への取組み」の状況

### ② 生物遺伝資源研究における世界最先端ラボの完成

自社の研究開発体制の強化 + 事業化に向けた推進体制の構築

→ 2023年頃 研究開発ラボ本格稼働開始

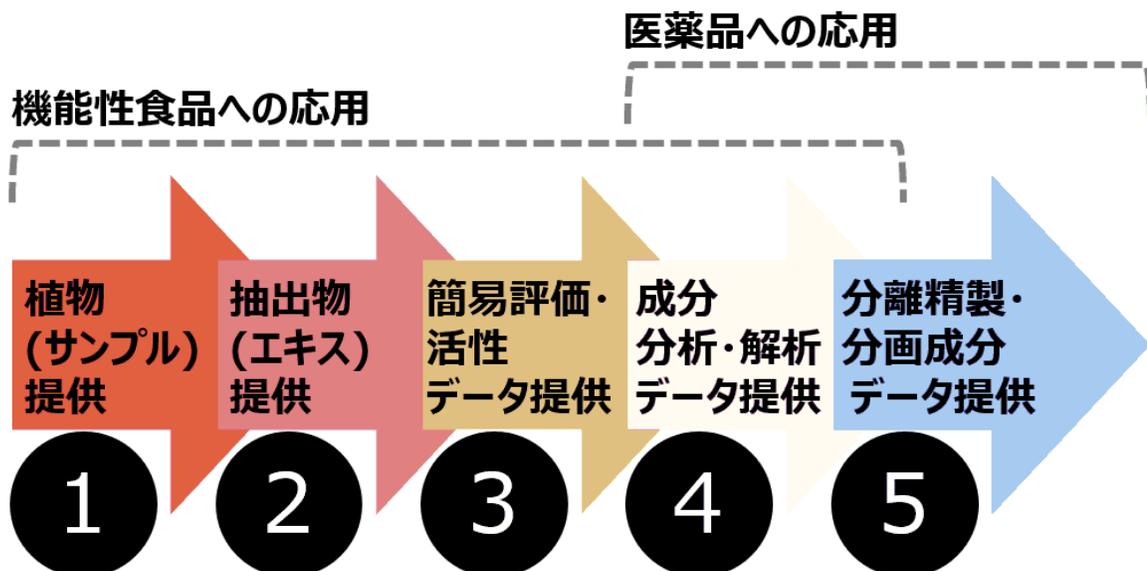


状況

- 最新鋭LC・GC-MS(5台)を含む設備・機器・ソフトを導入して完成
  - 研究開発員5名をキャリア採用済
  - 事業推進員5名をキャリア採用済
  - 社外の専門家で構成する「ABS市場創生タスクフォース」を形成中
  - 1年程遅延、2025年4月～本格稼働開始予定
  - バイオセーフティ委員会を設置
- 研究開発・事業推進の2体制化

# 【付録】ラボ紹介

機能性評価までの工程 (ビジネス視点)



本5工程に関する設備・機器・ソフトを導入



ラボ 主室



ラボ MS室